

科目名		地域・在宅看護論	単位(時間)	7単位(230時間)
担当講師名		専任教員 他	DP	1・2・3・4
科目設定理由		少子高齢化が一層進む中で、地域で生活する人々と家族を理解し、地域における様々な場での暮らしを支える看護を学ぶ科目である。地域に暮らす人々は、地域で生活を営んでおり、入院治療が必要になったときには病院で看護を受け、地域に暮らしているときには地域で看護を受ける。地域で暮らす人々の生活と健康を支えることは看護の基本である。多様な場において多職種と連携し適切な保健・医療・福祉が提供され、対象者の多様性・複雑性に対応した看護を創造する力が求められている。人々が地域において、自分なりの健康で、自分の望む暮らしを送ることができ、病気になっても住み慣れた地域で暮らすことができ、さらに自分の望む最期を望む場所で遂げられるよう、対象者や家族の望みや願いの実現を支える看護について学ぶために設定した。 地域・在宅看護概論Ⅰ・Ⅱでは、地域のなかで生活している人々を理解するために、在宅での生活の様子、地域のなかでの看護師の役割について知り、在宅における支援の基盤を学ぶ。 地域・在宅看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、療養者やその家族が置かれている状況の多様性や健康課題を理解し、状態に応じ、今後の病状の変化の予測をふまえた健康管理、在宅療養者や家族の意思決定や自立・自律を促し、生活の質を維持・向上させていくための看護を学ぶ。		
科 目 構 成	科目名	地域・在宅看護概論Ⅰ	地域・在宅看護概論Ⅱ	
	単位時間	1単位 20時間	1単位 30時間	
	履修時期	31期生 1年次 前期	31期生 1年次 前期	
	学習範囲	1. 人々の暮らしの理解 2. 暮らしと地域 3. 暮らしを支える在宅看護 4. 地域包括ケアシステムと地域共生社会	1. 地域・在宅看護の目的と特徴 2. 地域・在宅看護の対象 3. 地域・在宅看護実践の場と連携 4. 地域・在宅療養における社会保障制度 5. 訪問看護の制度と機能 6. 地域・在宅看護における倫理	
	科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ	地域・在宅看護援助論Ⅱ	地域・在宅看護援助論Ⅲ
	単位時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間
	履修時期	31期生 1年次 後期	31期生 1年次 後期	30期生 2年次 前期
	学習範囲	1. 在宅看護の基本技術 2. 安全と健康危機管理 3. 多様な対象者の生活を支える看護	1. 地域・在宅看護に必要な日常生活援助・医療的ケア 2. 通所サービスにおける対応技術 3. 訪問技術	1. 人生の終末を迎える人への看護 2. 療養生活を送る対象者への看護 3. 地域・在宅看護の特徴と看護の視点
	科目名	地域・在宅看護論実習		
	単位時間	2単位90時間		
	実習のねらい	地域・在宅看護論実習は、地域で暮らすあらゆる発達段階・健康状態にある人とその家族を対象に、その人の意向や希望を尊重し、多職種と連携・協働しながら、望む暮らしの実現に向けてその人らしい生活を地域で支える看護を学びます。また、地域コミュニティ演習や地域包括ケア演習での学びを活かして、地域のつながりを意識しながら実習に取り組みましょう。 保健所・保健センター、通所リハビリテーション施設、訪問看護ステーションの3施設での体験を通し、地域・在宅での暮らしを支える看護を学びます。また、地域・在宅における看護師の役割、多職種連携、生活の場における社会資源や制度の活用についても学びます。 保健所・保健センター実習では、地域住民の健康増進や疾病予防を目的とした保健活動について学びます。体験する事業を地域の特徴や法的根拠と結びつけて考え、住民の暮らしを支えるための多職種連携・協働、切れ目のない支援について学びます。 通所リハビリテーション施設実習では、加齢や疾病に伴う障害をもつ人々が、居宅サービスを利用しながら、地域で安全・安心に生活するための支援について学びます。残存能力を活かし、自立した生活を目指す支援のあり方を学びましょう。 訪問看護ステーション実習では、病気や障害をもつ療養者および家族への看護の実際を学び、その看護の意味を考えながら、住み慣れた地域でその人らしい生活を支えるための看護を学びます。さらに、望む生活の実現に向けて社会資源・制度の活用、多職種連携、対象を取り巻く人々との協働における看護師の役割についても学びましょう。また、訪問看護師の関わりを見て、療養者および家族を支える看護観についても学んでいきましょう。 さまざまな場で実習する際は、その場にふさわしい態度や行動を心がけましょう。限られた時間の中で、一つひとつの出会いを大切に、主体的に学びましょう。		